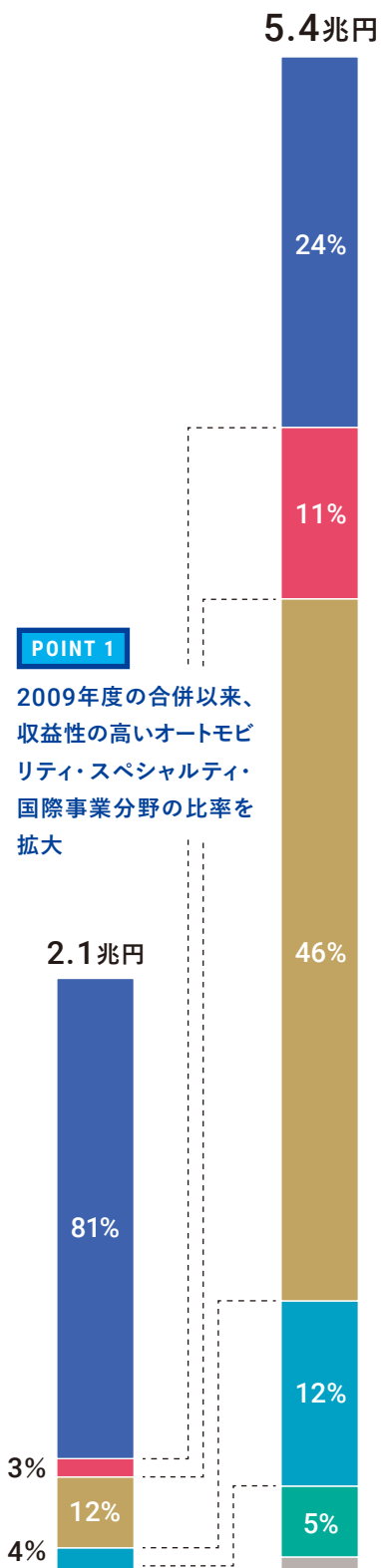


At a Glance

ポートフォリオの変遷と事業概要

セグメント資産残高の変遷



2008年度末 (合併直前の旧2社合算値) 2022年度末

事業概要および業績(2022年度実績※) ※ ROAはセグメント資産純利益率

国内リース事業分野					
	情報通信機器などあらゆる分野の設備投資に対応した 最適な金融・サービスを提供		➡ 情報通信機器および 製造設備などのリース・割賦・ 各種ファイナンス ➡ ITソリューション ➡ サブスクリプション、パートナー 企業との共創事業	➡ リースビジネスにおける 多様なソリューションサービス ➡ 有力なパートナー企業との 共創ビジネス	➡ 2万社以上の顧客社数
	当期純利益	セグメント資産残高	ROA		
	229億円	1兆2,871億円	1.7%		
オートモビリティ事業分野					
	業界トップクラスの車両管理台数を持ち、 広範なオートサービスを提供		➡ 法人向けオートリース ➡ 個人向けオートリース ➡ レンタカー	➡ オートリース・レンタカー などのフルラインナップによる 総合オートサービス ➡ 有力なパートナー企業との 協業によるEVなどの 次世代関連ビジネス	➡ 車両管理台数：72万台以上 ➡ レンタカー営業拠点： 国内563ヵ所(案内所含む)、 海外(ハワイ、グアム) ➡ 法人オートリース提携整備 工場数：約16,000工場
	当期純利益	セグメント資産残高	ROA		
	121億円	6,116億円	2.0%		
スペシャルティ事業分野					
	多様なプロダクトにおいて高度な専門性をもとに ユニークな事業性ビジネスを展開		➡ 航空機、船舶、不動産に かかわるリース・ファイナンス および関連事業 ➡ 事業投資 (プリンシパル・インベストメント) ➡ ストラクチャード・ファイナンス	➡ 専門性の高いアセットを 軸とした事業展開 ➡ 業界トップクラスの パートナー企業との協業による 競争力の高い金融・サービス	➡ 航空機リース子会社・ ACGの事業規模： 保有管理機体数は349機 と業界トップクラス、 約45ヵ国・約95社の エアラインへサービス提供
	当期純利益*1	セグメント資産残高	ROA*1		
	389億円	2兆4,906億円	1.7%		
*1 ロシア関連の特別損失(一過性要因)580億円を除く					
国際事業分野					
	北米、アジアを中心に世界50ヵ国以上の グローバルネットワークでリース・オート事業を展開		➡ IT機器リース ➡ オート事業 ➡ 二国間クレジット事業(JCM)	➡ グローバルネットワークを 活用した多彩な金融・サービス ➡ 米国IT機器リース会社のCSI Leasingにおける競争力の 高いFMVリース	➡ 北米・欧州・アジアを 中心に世界50ヵ国以上の グローバルネットワーク
	当期純利益*2	セグメント資産残高	ROA		
	△59億円	6,557億円	△1.0%		
*2 営業投資有価証券の評価損173億円(一過性損失)を計上					
環境インフラ事業分野					
POINT 2 2023年度より環境インフラ事業分野を新設し、4セグメントから5セグメントに変更					
	太陽光による発電事業をはじめとした 再生可能エネルギー事業を国内有数の規模で展開		➡ 太陽光・バイオマス発電などを 主とした再生可能エネルギー ➡ 蓄電池事業 ➡ 太陽光発電所の アセットマネジメント事業	➡ 国内屈指の規模で太陽光発電 所(メガソーラー)を保有・運営 ➡ パートナー企業との協業による 環境ビジネスの バリューチェーンの構築	➡ 稼働済み太陽光発電所： 145ヵ所 ➡ 再生可能エネルギー 発電容量：750MW
	当期純利益*3	セグメント資産残高	ROA		
	2億円	2,779億円	0.1%		
*3 新設発電所の試運転費用および貸倒費用など40億円(一過性損失)を計上					

G Xタスクフォース

DXタスクフォース

※ 2022年度実績は、環境インフラ事業分野新設後の2023年度の計上基準で組み替えた数値を記載(純利益・ROAは概算値)。